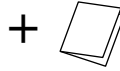
オートクルーズ機能付スロットルコントローラー

3 drive・AC
AUTO CRUISE & THROTTLE

取扱説明書 （品番：THA-BM）

この度はPIVOT 3-drive・AC BMW・MINI専用品を
お買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

●製品を他の人へお譲りする場合は必ず取扱説明書（本書）をお付けください。

BMW・MINI専用品

THA-BM

※本製品は専用品で他車への装着はできません。

目 次

装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」（⇒7ページ）を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要ですので、作業が不安な方は販売店にご相談ください。

純正オートクルーズ装着車には取付できません

純正ECU以外は装着不可

ECU が純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合は取付できません。

製品の取り外し時はノーマルモード

製品を取り外す時は、nor（ノーマル）モードにしてください。他のモードで接続すると、**チェックランプ**が点灯する場合があります。

製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

内容物をご確認ください

本体
[60×22×55(D)mm]

セットスイッチ

専用ハーネス

レバー用スペーサー
17、26、28、32mm

延長ケーブル

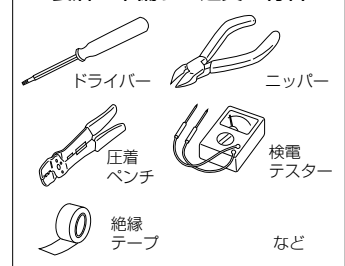
インシュロックバンド
（大）×1、（小）×2

両面テープ
[25×35mm]

セットスイッチ用
両面テープ ×2

カットギボシ
×4

取扱説明書
（本書）

装着に準備する道具と材料

特 長

レスポンスとオートクルーズを上質に制御！

3-drive・ACはオートクルーズ機能付で
レスポンスをSPORTSからECOまで調整できる
スロットルコントローラーです。

基本特長

SAFE ＆ SMART

同色表示　純正メーターと同じオレンジ色の表示で、純正のような装着感。

小型本体　小型ワンボディの本体は様々な場所に設置可能。

デジタル制御　温度やノイズ影響の少ないマイコン制御。

初期設定式　クルマに応じた特性を初期設定し安定動作を実現。

安全優先　様々なトラブル時も安全制御を最優先した安心設計。

オートクルーズ

快適 ＆ ECO

オートクルーズ　設定速度で自動走行するオートクルーズ走行が可能。(約30～140km/h)

速度差の少ない制御　独自の制御方式とレベル調整機能で「速度差が少なく」急加速も抑えた「乗り心地の良い」オートクルーズ。

操作性の良いスイッチ　片手で操作できるセパレート式のスイッチは、様々な場所に両面テープで簡単に貼り付けられます。

動作解除　オートクルーズ中にブレーキを踏むと、純正車と同じく瞬時にオートクルーズが解除され、通常表示に戻ります。また、「セットスイッチ操作」「ブレーキヒューズ切れ」「設定速度より極端な速度低下時」の場合も解除。

異常加速防止　出力信号はマイコンが2系統で監視し、万一のトラブル時はノーマル状態に復帰し、異常加速を防止する安全設計。

速度差試験例　59 $^{+1}_{-0}$ km/h

燃費試験例（消費量）

走行条件	燃費	消費量
オートクルーズ 60km/h	12.4km/L	(121cc)
波状走行 55～65km/h	9.9km/L	(151cc)
波状走行 50～70km/h	8.2km/L	(183cc)

・車種＝ワゴンR (MH23S)　・道路勾配＝上り平均1.5度　・距離＝1.5km
※波状走行とは設定速度の上下を周期的にアクセル操作したものです。

スロットルコントローラー

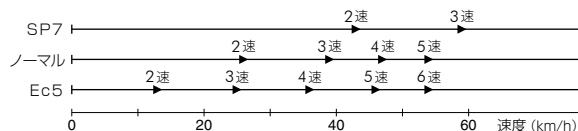
SPORTS ＆ ECO

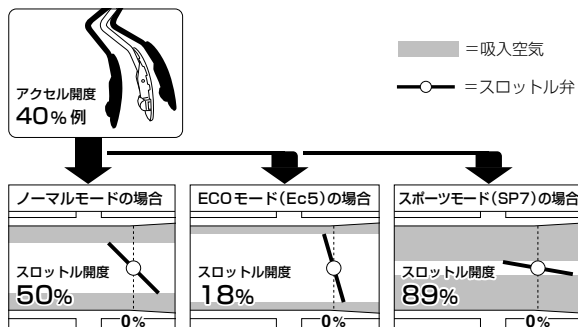
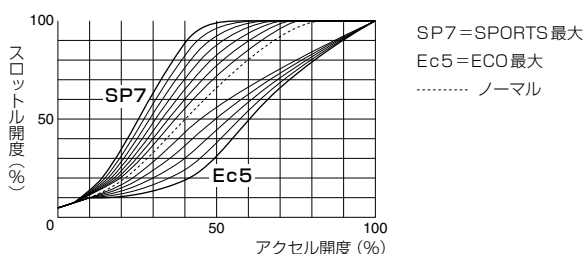
SPORTS & ECO　レスポンスアップしたスポーツ走行から、ダウンさせ燃費アップに効果のあるエコ走行までお好みに応じた調整が可能。

12段階調整　スポーツ7段、ECO5段のお好みに応じた幅広い調整。

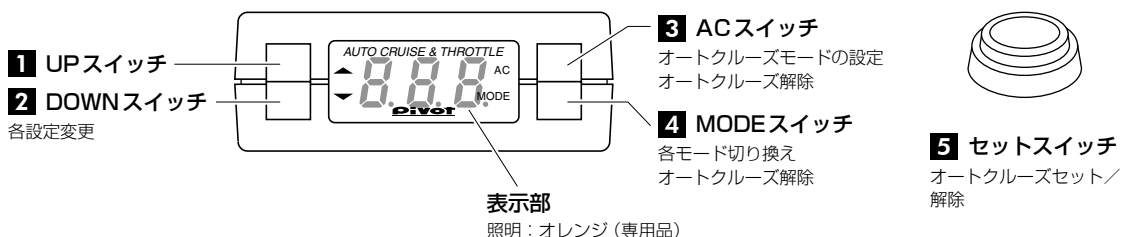
アクセルモニター　アクセルの踏み込み量を表示し、踏み込み過ぎに注意したエコ運転などに便利。

各モード性能 (0～400m)　・車種＝ホンダ ステップワゴン (RG1)

ギヤ変速比較　・車種＝ゴルフGTI (1KAXX)

SP7＝SPORTS最大　Ec5＝ECO最大　条件＝アクセル開度30%固定
※CVTや変速ショックの少ないクルマは体感が小さくなる場合があります。

スロットル開度変化　・車種＝スズキ スイフト (ZC31S)

※上記データは実走行試験結果の一例です。クルマや道路環境などで異なる場合があります。
※バルブマチックエンジンなどを採用している一部車種では、スロットルバルブではなく吸気バルブで制御を行っている場合があります。

各部の名称

5 セットスイッチ
オートクルーズセット／解除

表示の種類

表示の種類

表 示	説 明
SP1～SP7	スポーツモード（数字が大きい＝レスポンスが高い）
Ec1～Ec5	ECOモード（数字が大きい＝レスポンスが低い）
nor	ノーマル（純正状態）
A□□	アクセル開度表示
on.	オートクルーズモードON
oFF	オートクルーズモードOFF
Acc	オートクルーズ動作中
bAc	リバース時（スポーツモード中のみ）

設定用表示

表 示	説 明
cAr	初期設定モード
L□□	アクセルを踏まない位置
H□□	アクセルを奥まで踏んだ位置
SEt	入力完了
PLS	車速パルス設定モード
P-□	車速パルス数
L-□	オートクルーズレベル調整

⚠警告

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- ●初期設定はギヤをＰまたはＮにし、エンジン停止状態で行ってください。エンジン動作中は危険ですので初期設定を行わないでください。
- ●換気の悪い場所で作業しないでください。排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- ●コードの被ふくを傷付けないでください。ショート、接触不良等による火災の危険があります。
- ●走行中のスイッチ操作や表示の注視は大変危険ですのでおやめください。
- ●配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠注意

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- ●間違った設定や使用方法による車輌、製品、事故等の問題には弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- ●装着できる車種かどうかは、3-drive · AC BMW&MINI専用対応車表でお確かめください。
- ●本製品の装着には専門知識が必要です。不安な方は販売店などにご相談ください。
- ●間違った装着・設定をすると、チェックランプが点灯する場合があります。
- ●エレクトロタップは使用しないでください。
- ●配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線等が突き出ていないかをお確かめください。
- ●お手入れは乾いたやわらかい布（めがね拭き）で拭いてください。
- ●アルコール・ベンジンなどは使わないでください。
  プラスチックが割れたり塗装面を傷めたりします。
- ●加工・分解および改造は行わないでください。

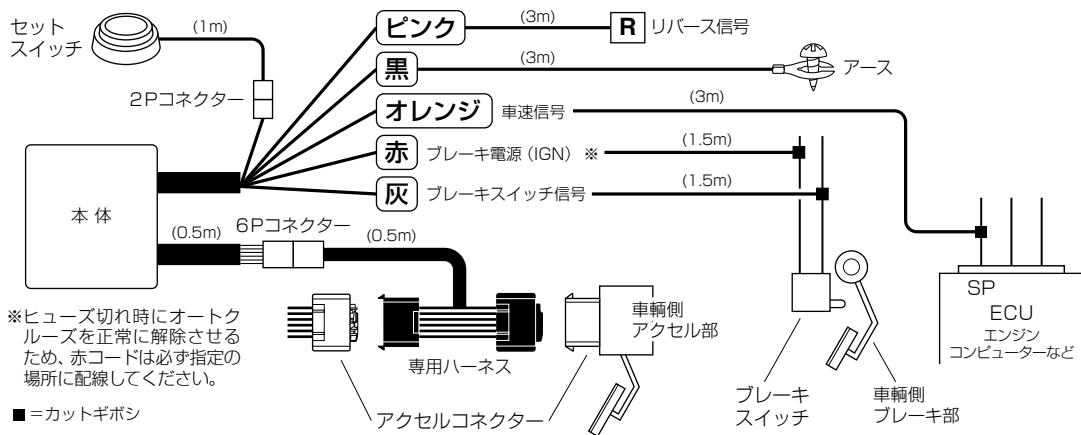
配線接続方法

ご使用のまえに
製品の特長
配線接続方法
製品の固定
初期設定
車速パルス設定
操作方法
お困りのときは

基本配線

取付の際は必ず付属の専用ハーネスをご使用ください。

セットスイッチ (1m)
2Pコネクター
本体
ピンク (3m) R リバース信号
黒 (3m) アース
オレンジ 車速信号 (3m)
赤 ブレーキ電源（IGN）※ (1.5m)
灰 ブレーキスイッチ信号 (1.5m)
(0.5m) 6Pコネクター (0.5m)
専用ハーネス
アクセルコネクター
車輌側アクセル部
ブレーキスイッチ
車輌側ブレーキ部
SP ECU エンジンコンピューターなど

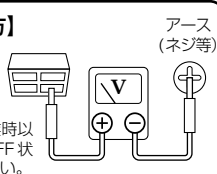
※ヒューズ切れ時にオートクルーズを正常に解除させるため、赤コードは必ず指定の場所に配線してください。

■＝カットギボシ

●車輌側コードへ接続時は、通電不良の原因になるため、「エレクトロタップ」を使用せず、付属のカットギボシを使用するか半田付けをし、テープで絶縁処理を行ってください。

●配線作業は必ずバッテリーの ⊖ 端子を外して行ってください。

【テスターの使い方】

各配線場所はテスターで確認してください。

※テスターでの確認作業時以外は、必ずキーをOFF状態にしておいてください。

【参考】カットギボシの使い方

1	2	3	4	5
10mm 接続するコードの被ふくをむく。	10mm 製品コード先端の被ふくをむく。	両方の芯線を絡める。	確実にかしめる。	ビニールテープで絶縁する。

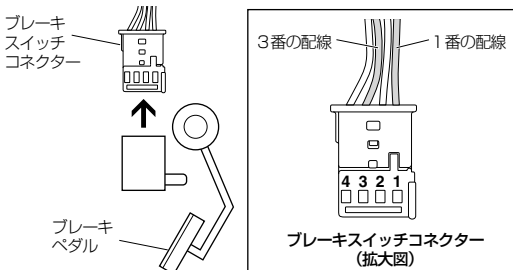
※かしめる際は圧着ペンチを使用するか、ペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。

ブレーキスイッチ（ブレーキ電源とブレーキスイッチ信号）

●ヒューズ切れ時にオートクルーズを正常に解除させるため、赤コードは必ず指定の場所に配線してください。

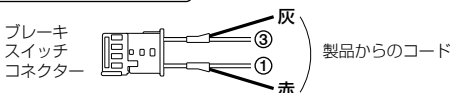
●配線完了後は必ずブレーキランプの点灯確認を行ってください。

1 キースイッチをOFFにする（キーを抜く）

2 アンダーパネルを外し、ブレーキスイッチコネクターを抜く

3 付属のカットギボシを使用し、以下のように接続する

赤 ブレーキ電源　1番の配線へ

灰 ブレーキスイッチ信号　3番の配線へ

ブレーキスイッチコネクター　灰 ③ ① 赤　製品からのコード

（配線の内容）

1番の配線：キーを差し込んだとき12V、キーを抜いたとき0V
3番の配線：キーを差し込んだときにブレーキを踏んで12V
ブレーキを踏まないで0V

4 ブレーキコネクターを元に戻す

車速信号・アース

※クルマによって配線の位置が異なります。
以下の通りに作業してください。

オレンジ 車速信号

車速信号配線はキャンバスアダプターには配線しない

キャンバスアダプターの車速信号に配線すると、信号の容量不足により他機器への影響もありますので、必ず指定の場所へ配線してください。

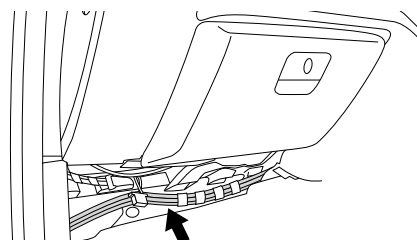
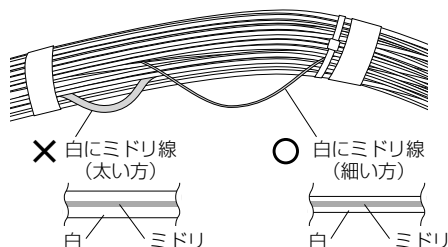
黒 アース（アース端子付）　**アースが取れる金属部のネジに固定する。**

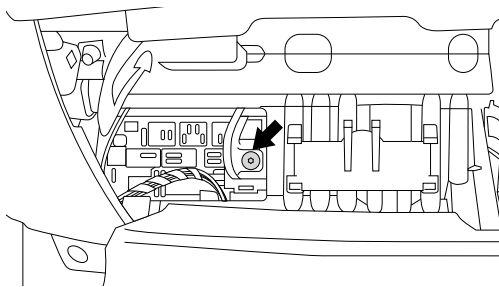
※プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

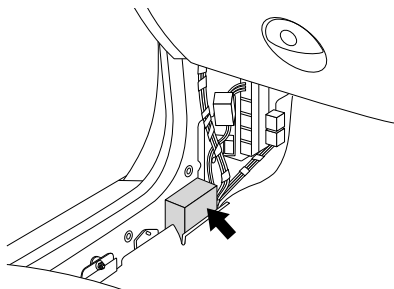
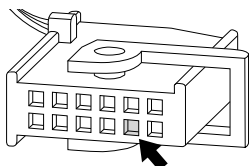
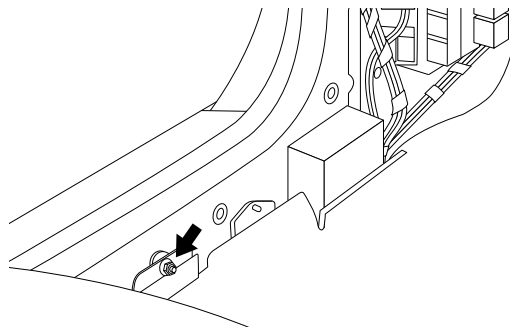
BMW　1シリーズ／3シリーズ／X1の場合

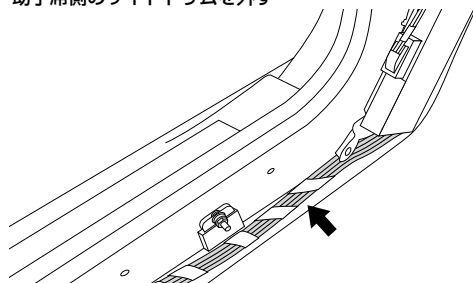
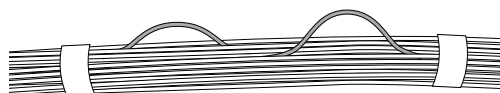
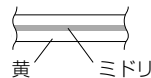
1 キースイッチをOFFにする（キーを抜く）

2 以下の手順でオレンジコードを車速信号に接続する

①グローブボックス下のアンダーパネルを外す

②配線の束から、白にミドリ線を２本探す
※X1の場合、この線は１本です。

③2本の線のうち、**細い方の配線**に付属のカットギボシを使用し接続する
○細い方：線径1.2mm　　×太い方：線径2.4mm

3 黒コードをアースに接続する
グローブボックス奥のトルクスネジ（T27）にアース端子を共締めする

MINI　R50シリーズの場合

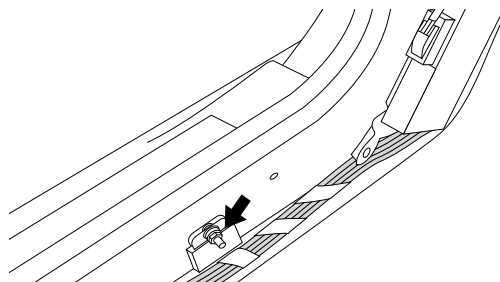
1 キースイッチをOFFにする（キーを抜く）
2 助手席側のサイドトリムを外す
3 以下の手順でオレンジコードを車速信号に接続する
①ドアミラー格納ユニットのコネクターを外す

②下図の箇所のコードに付属のカットギボシを使用し接続する

4 黒コードをアースに接続する。
下記の場所にあるアースのナットにアース端子を共締めする

MINI　R56シリーズの場合

1 キースイッチをOFFにする（キーを抜く）
2 助手席側のサイドトリムを外す

3 以下の手順でオレンジコードを車速信号に付属のカットギボシを使用し接続する
①配線の束から、黄にミドリ線を２本探す

②テスターを使い、２本の配線を検電する

（検電方法）　1.キースイッチOFF
　　　　　　　2.テスターを電圧（V）に設定する

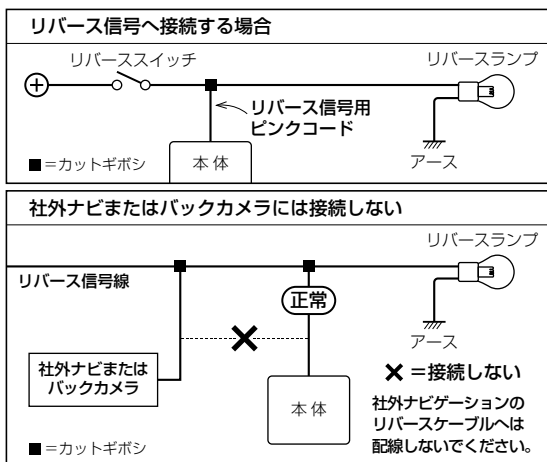
配線１	0Vまたは12V	オレンジコードを接続する線
配線２	5V	配線しない線

③検電の結果、**配線１**（0Vまたは12V）に接続する

4 黒コードをアースに接続する
下記の場所にあるアースのナットにアース端子を共締めする

リバース信号

リバース配線を行うと、スポーツモードでのR（リバース）時、ノーマル状態に自動的に切り換わります。
また、このときはオートクルーズセットもできません。
※リバース時のアクセル開度は小さく、急加速はしませんので、必ずしもこの配線を行う必要はありません。
※ECOモード・ノーマルモード中は動作しません。

ピンク
●ギヤ位置
R（リバース）時＝12V、その他の位置＝0V

（検電方法） キースイッチON（エンジンは始動しない）でギヤをリバースへ動かす。
（接続方法） 先端の黒チューブをカットし、下記の要領で接続

（配線の確認）
bAc　リバース信号が入力されるとスポーツモード中のみbAc表示し、ノーマルモードに切り換わります。

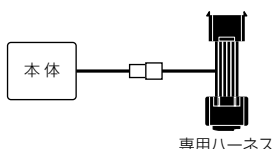
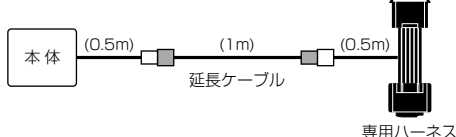
⚠ リバース配線はカーナビ用キャンバスアダプターには接続しない

カーナビ（純正以外）用キャンバスアダプターのリバース信号に配線すると、信号の容量不足からカーナビがルート案内しないなど、他機器への影響もありますので、リバース信号には配線しないか、他の場所へ配線してください。

リバース信号がパルス式の場合

リバース配線を行って本製品が正常動作しない場合はリバース信号がパルス式の12V電圧となっているためですので、別売のリバースアダプター（¥1,500　税別）をご購入ください。
（リバース配線をテスターで計測すると12Vの確認はできますが、テスターでパルスの確認はできません。）

専用ハーネス

6P コネクター　**専用ハーネスの6Pコネクターと接続。**

※必要に応じて、付属の延長ケーブルをお使いください。
本体　(0.5m)　(1m)　(0.5m)
延長ケーブル
専用ハーネス

1　アクセルを外す
※専用ハーネスの接続を確実に行うため、必ずアクセルを外してから行ってください。

Aタイプ
BMW　1シリーズ／3シリーズ
MINI R56 シリーズ

① アクセル根元のゴムカバーを取り、ネジを外す。

② 上方向へ引き抜く。

Bタイプ
MINI R50シリーズ

（正面）
ゴムカバー
がない

① 先端が7mm以上の太いマイナスドライバーを用意し、アクセル左側面のツメに差し込む。

7mm以上
アクセル
ペダル
内部のツメ
マイナス
ドライバー（大）

② マイナスドライバーを上方向に持ち上げ、アクセルを左方向へ1cmスライドさせる。

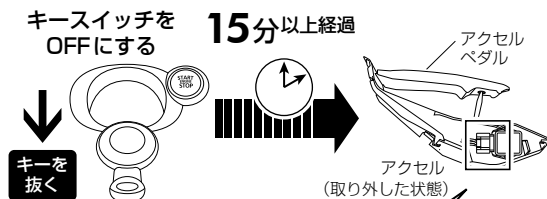
1cm
スライド

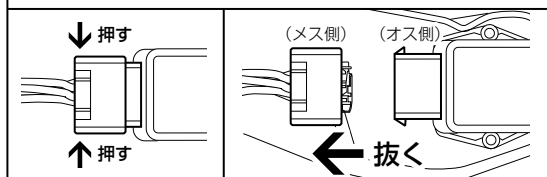
③ マイナスドライバーを先端6mm以下の小さいものに変え、①と同じ場所に差し込む。

④ ②と同様にマイナスドライバーを上方向に持ち上げ、アクセルを左方向へスライドさせ、完全に引き抜く。

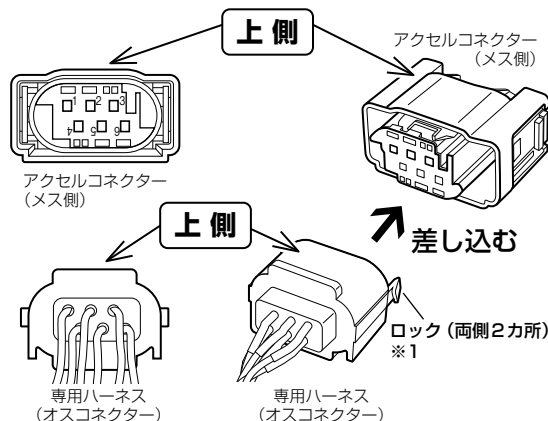
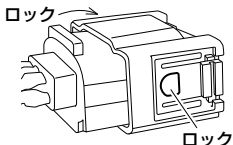
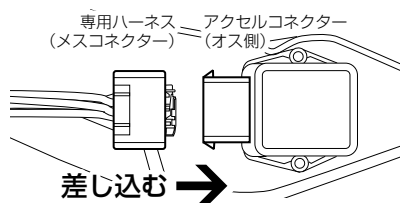
2 キー OFFから15分以上経過後、アクセルコネクター（メス側）のフックを押しながら抜く

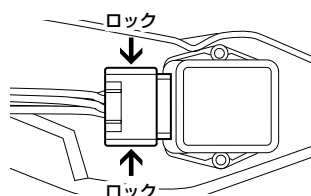
キー OFF後15分以内に抜くと、車種によってはチェックランプ点灯の原因になります。

（チェックランプ点灯の場合⇒16ページ「チェックランプ消灯方法」参照）

アクセルコネクターの抜き方

コネクター取り外しの際はフックを確実に押しながら多少強い力で引き抜いてください。

3 アクセルコネクター（メス側）に専用ハーネス（オスコネクター）を差し込む

コネクターには方向がありますので、下記を参考に差し込んでください。

コネクターの向きについて

※1 両側のロックがカチッというまで確実に差し込み、コネクターが抜けないことを確認してください。

4 アクセルコネクター（オス側）に専用ハーネス（メスコネクター）を差し込む

コネクターを奥まで差し込んで、両側のロックがかかっていることを確認してください。

※コネクターの向きが逆だと奥まで入らず、ロックがかかりません。

5 アクセルを元に戻し、専用ハーネスの6Pコネクターと本体からの6Pコネクターを接続する

※センターコンソールに本体を取り付ける際にケーブルの長さが足りない場合は、付属の延長ケーブルをご使用ください。

セットスイッチ

2P コネクター 本体からの2Pコネクターと接続。

オートクルーズを使用しない場合の配線

赤 =IGN(キー ON 12V)（ブレーキ以外でも可）

黒 =アース

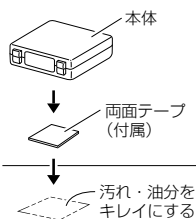
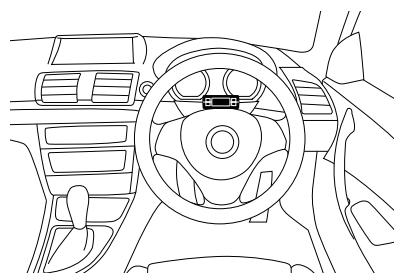
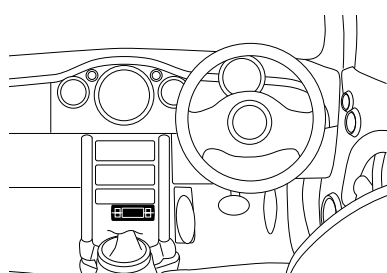
灰 オレンジ =どこにも接続しない

製品の固定

⚠ **配線はテープなどで収納してください。** 使用中に配線がからまると運転操作に支障をきたします。
また、コードが挟み込まれると、ショートなどの原因となり、大変危険です。

本体の固定

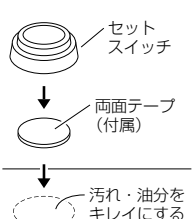
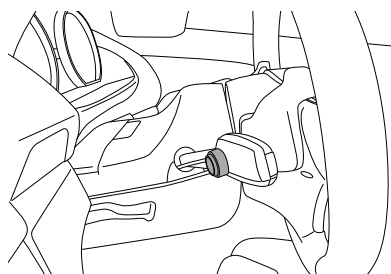
本体は、できるだけ表示が見やすい場所に装着してください。

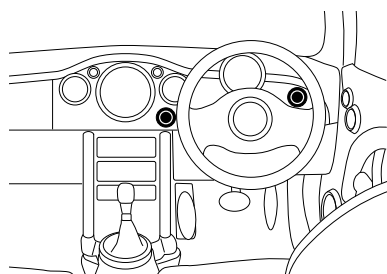
（装着方法）

（装着例）

BMW　1シリーズ／3シリーズ

MINI

セットスイッチの固定

セットスイッチは、操作しやすい場所に装着してください。

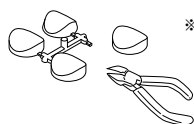
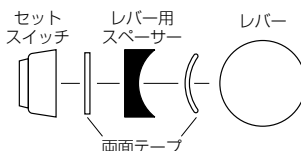
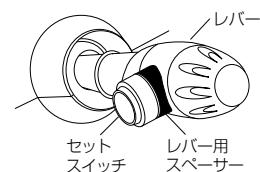
●直接貼り付ける場合（BMW、MINI R50シリーズ）

（装着方法）

（レバー部装着例）

BMW　1シリーズ／3シリーズ

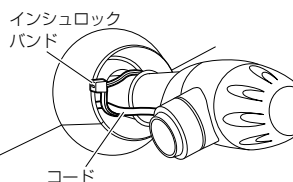
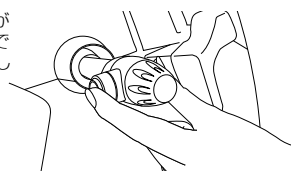
（その他装着例）

MINI R50シリーズ

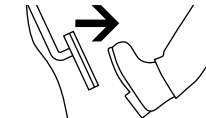
●レバー用スペーサーを使用する場合

（装着方法）

① 使用する17mmのスペーサーを切りはなす

② 両面テープでレバー側面に固定する

（スペーサー装着例）

コードの固定について

スイッチから出ているコードは、付属のインシュロックバンドで固定し、余りはカットしてください。

※コラムカバー内へ配線を引き込む場合は、コードの挟み込みに注意し作業を行ってください。

※押すときはレバーが動かないよう親指で支え、スイッチを押してください。

手順3 初期設定（アクセル開度設定）必ず行ってください。

- ●この作業は、クルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- ●設定を行わないと、モード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- ●この作業を行わないと、チェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに

⚠
1. 設定はすべての配線（コネクター装着）後に行ってください。
2. 設定は **キー ON** で **エンジンを始動しない** 、ギヤ位置 **P**（パーキング）または **N**（ニュートラル）で行ってください。

【設定方法】

操作手順	本体表示部
1 キースイッチON START ENGINE STOP / ON / エンジンは始動しない	nor. または nor （nor表示） ⚠ 表示が nor 以外の場合は、MODEスイッチを押し、nor にしてください。
2 UPスイッチを10秒長押しし、表示を0にする 0まで押す	 cAr 点滅 ⇩ -5- -4- ⋮ -0- cAr点滅表示後、5〜0カウントダウン
3 表示0でUPスイッチはなす はなす	(例)※1 L 1.5 電圧表示（例=L1.5）
4 アクセルを踏まない （アクセル0%状態にする） 0%	(例)※1 L 1.5 電圧表示（例=L1.5）
5 UPスイッチ押す 押す ➡ 0%状態を設定	SEt （SEt表示）
6 アクセルを奥いっぱいまで踏み込む （アクセル100%状態にする） ← 100%	(例)※1 H 4.5 電圧表示（例=H4.5）

※1 各表示数値は車種により異なります。

操作手順	本体表示部
7 アクセル100%状態でUPスイッチ押す 押す ➡ 100%状態を設定	SEt （SEt表示） ⇩ nor. または nor （nor 1秒表示） ⇩ 100 （100表示）
8 表示が100に変わったらアクセルをはなす	100 （100表示） ⇩ nor. または nor （nor表示）
9 設定完了	

⚠ 他のクルマへの装着時は必ず再設定を行ってください。
設定後にバッテリーや配線を外した場合の、初期設定は不要です。

設定の確認 ※表示が違う場合は再度 **2** から行ってください。

アクセルを踏まない 0%	➡	nor. または nor （nor表示）
アクセルを踏み込む ← 100%	➡	100 （100表示）

※アクセルの特性上またはアクセルの踏み方によって、A95（95%）の表示になる場合があります。

⚠ **7** で Err 表示になる場合

Err表示後 **4** の表示（L1.5など）に戻る場合はアクセル開度設定が確実にできていません。もう一度 **4** から設定をやり直してください。

手順4 車速パルス設定

【設定方法】

操作手順	本体表示部
1 キースイッチON START ENGINE STOP ON エンジンは始動しない	nor. または nor （ノーマルモード） ⚠ 表示が nor 以外の場合は、MODEスイッチを押し、nor にしてください。
2 DOWNスイッチを3秒以上長押しする 3秒以上長押し	PLS （PLS表示）
3 DOWNスイッチをはなし、パルス数を表示 はなす	P （パルス数表示）
4 UP／DOWNスイッチを押し、設定するパルス数を選択する アップ／ダウン 押す	P36 MINI用 （出荷時設定） ↕ P40 BMW用

操作手順	本体表示部
5 10秒以上スイッチ操作なし	P （選択されたパルス数点滅） ⇩ P （選択されたパルス数点灯） ⇩ 消灯
6 ノーマルモードに戻る	nor. または nor （nor表示）
7 設定完了	

⚠ オートクルーズセットがメーター読み約30km/hでできない場合は、設定したパルス数が違いますので、正確に合わせてください。

基本動作

エンジン始動

↓

スロコンモード

MODEスイッチ押す

MODE 押す

SP ↓↑ nor ↓↑ Ec

UP／DOWNスイッチ押す　アップ／ダウン 押す ▶ スポーツモード変化率切り換え（SP1～7）

UP／DOWNスイッチ押す　アップ／ダウン 押す ▶ ECOモード変化率切り換え（Ec1～5）

11ページ

オートクルーズセット

8.8.8.● ←ドット点灯時

セットスイッチ押す　押す

オートクルーズ解除

- ●セットスイッチ押す
- ●ブレーキを踏む
- ●MODE／ACスイッチ押す
- ●設定した速度を20km/h下回る
- ●速度が15km/h以下になる

ACスイッチ押す　AC 押す

↓

オートクルーズモードの設定

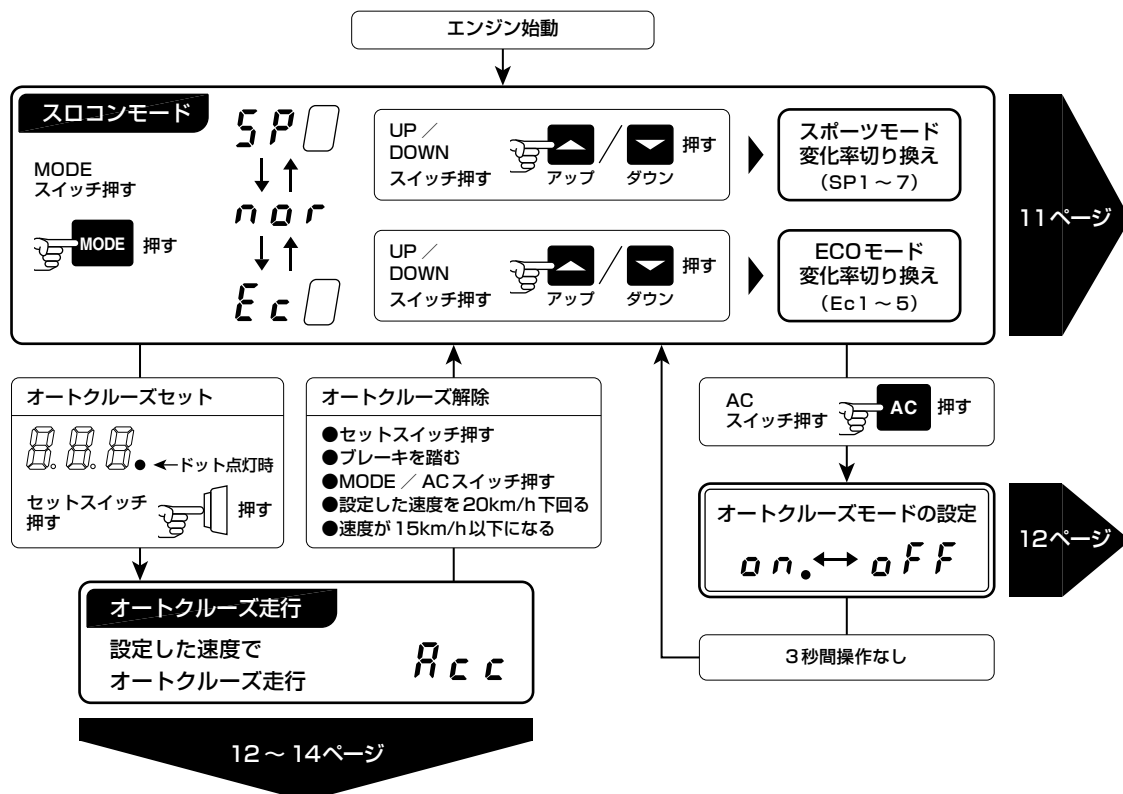
on. ↔ oFF

12ページ

3秒間操作なし

オートクルーズ走行

設定した速度でオートクルーズ走行　Acc

12～14ページ

スロコン操作方法

レスポンスの切り換え

各モードのレスポンス設定をします。

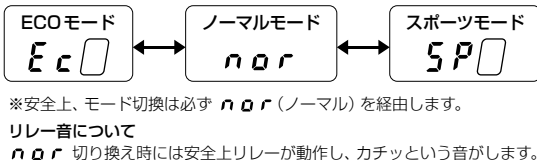
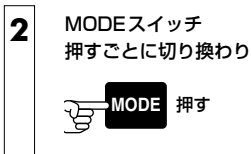
モード切り換え

スポーツ（レスポンスが高い）・ECO（レスポンスが低い）・ノーマル（純正状態）の３モードを切り換えます。

1 キースイッチON
（エンジン始動）

2 MODEスイッチ
押すごとに切り換わり

※安全上、モード切換は必ず nor（ノーマル）を経由します。

リレー音について
nor 切り換え時には安全上リレーが動作し、カチッという音がします。

各モード変化率切り換え

スポーツモード（SP）・ECOモード（Ec）の変化率を切り換えます。

⚠ 変化率調整は、加速の状態を確認しながら最小値から徐々に上げてください。

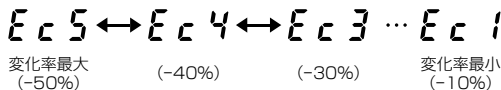
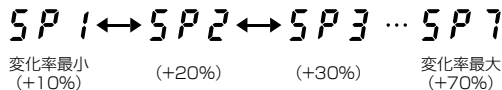
Ec0 表示中
UP ／ DOWN
スイッチ押すごとに切り換わり

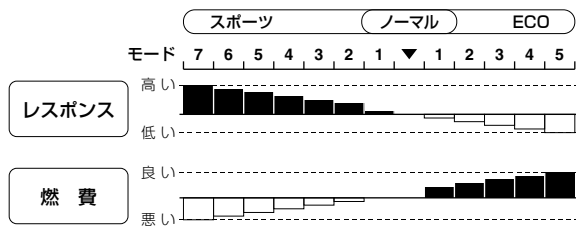
SP0 表示中
UP ／ DOWN
スイッチ押すごとに切り換わり

ECOモード変化率切り換え

Ec5	↔ Ec4	↔ Ec3	… Ec1
変化率最大 (-50%)	(-40%)	(-30%)	変化率最小 (-10%)

スポーツモード変化率切り換え

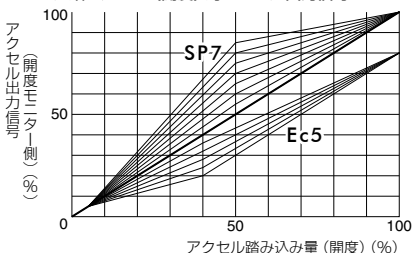
SP1	↔ SP2	↔ SP3	… SP7
変化率最小 (+10%)	(+20%)	(+30%)	変化率最大 (+70%)

⚠ **各モード記憶** 各設定はエンジンOFFでも記憶されています。ただし、操作後２秒以内にエンジンを停止すると記憶されません。

【参考１】各変化率でのレスポンスと燃費の変化例

※ECOモードでは、純正状態よりもレスポンスを下げた低燃費走行が可能です。
ただし、意図的に急加速運転をすると燃費は悪化します。

※レスポンス変化はパワーの大きいクルマほど大きくなります。

【参考２】基本制御特性

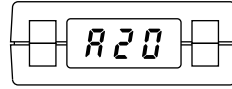
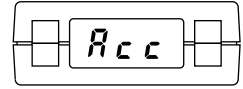
全域で段付のないスムーズな制御を行います。

アクセル踏み込み量（開度）対アクセル出力信号

アクセル開度モニター

アクセルの踏み込み量を表示します。（出力信号側）[15〜100%まで、5%単位]

アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を0とし、奥まで踏んだ状態を100としてECU側に出力する開度率です。

※ECOモードでは100%踏んでも出力信号は80%となります。

※アクセルセンサーの特性上またはアクセルの踏み方によっては95%までの表示になる場合があります。(スポーツ・ノーマルモード中のみ)

アクセル開度（出力側）20%時

オートクルーズ動作中（開度表示なし）

用途1 エコ運転時のアクセル操作チェック

発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15〜25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用すると効果的です。

用途2 運転中のアクセル操作チェック

ECOモード以外でもアクセル開度をチェックできます。

用途3 制御状態のチェック

キーON（エンジン停止）状態のとき、ノーマルモードでアクセルを40%（A40）まで踏み込み、モードをSP7にすると表示は出力70%（A70）となり、Ec5では20%（A20）となります。

[⇒11ページ「基本制御特性グラフ」参照]

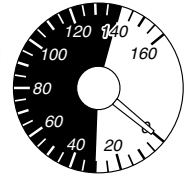
※表示は多少異なる場合があります。

オートクルーズ操作方法

オートクルーズをセットすると、アクセルペダルを踏まなくても設定した速度で自動走行できます。

⚠
- ●オートクルーズは運転を補助する装置にすぎませんので、「法定速度」を守った「安全運転」を行ってください。
- ●オートクルーズは次の状況では危険ですので使用しないでください。
  ①滑りやすい路面（雪、凍結）　②渋滞時　③急カーブや急な坂
- ●急な上り坂ではエンジン性能以上の加速はできません。また、急な下り坂ではエンジンブレーキ以上の減速はできませんので、ブレーキを併用してください。
- ●エンジン回転が上がるため、オートクルーズ走行中にギヤをN（ニュートラル）などDレンジ以外にしないでください。

【設定可能速度】
約30〜140km/h

純正メーターでは、表示誤差から35〜145km/hくらいでの設定になります。

オートクルーズモードの設定

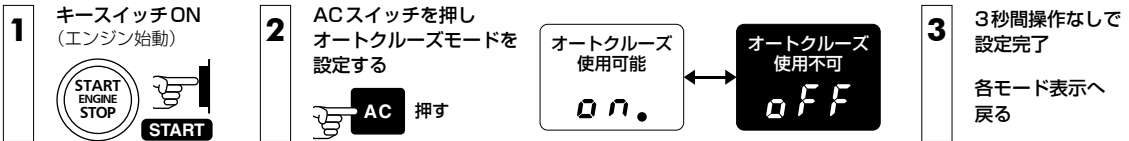
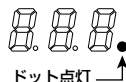
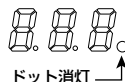
セットスイッチ操作によるオートクルーズ走行のON／OFFを設定します。
※各設定はエンジンOFFでも記憶されています。

【設定方法】

1 キースイッチON
（エンジン始動）

2 ACスイッチを押し
オートクルーズモードを設定する

3 3秒間操作なしで
設定完了

各モード表示へ
戻る

【確認方法】
モード・アクセル開度表示時に

⚠ **オートクルーズ機能を使用しないときは、オートクルーズモードの設定をOFFにしてください。**

セットと解除

【設定方法】

1 キースイッチON
（エンジン始動）

2 モード表示

ドットが点灯している場合のみオートクルーズ走行ができます。
⇒12ページ「オートクルーズモードの設定」参照。

3 走行開始

4 設定する速度でセットスイッチ押す

できるだけ速度変化の少ない状態で行ってください。

⚠ **セット時には急激なアクセル操作はしないでください。**

●急な上り坂では、セット時、一度多少減速してから安定走行になります。

リレー音（カチッ）について

nor. でのセット時はリレーの動作音がします。気になる場合は、SP1 または Ec1 に切り換えてご使用ください。

5 設定速度で自動巡航

Acc中は、加速時以外はアクセルを踏まないでご使用ください。

Acc

【加速方法】 ①アクセルを踏むと加速
②アクセルをはなすと設定速度に戻りオートクルーズ

加速 → オートクルーズ

アクセル踏む　アクセルはなす

【解除方法】 以下のいずれかの方法を行ってください。

●セットスイッチ押す　押す

●ブレーキを踏む

●MODE／ACスイッチ押す　MODE／AC　押す

【自動解除】 ●設定速度から20km/h下がった場合
●速度が15km/h以下になった場合

3 に戻る

モード表示

ドット点灯

【再設定方法】 【解除方法】で解除後、**4**を行う。

レベル調整

上り坂などで一時的に下がった速度を設定速度に戻す時間は、エンジン性能（出力）の違いによって変わります。
レベル調整を行うことで、速い加速（設定速度に早く戻る）と遅い加速（乗り心地が良い）のバランスをお好みで調整できます。

レベル調整は走行条件やクルマでも異なる場合がありますので、下記はあくまで参考例とし、お好みで調整してください。

（製品出荷時はL-3の設定です。）

L-5側 （速い加速） 小排気量車向け	エンジン出力が小さいクルマで、設定速度に戻る時間を早くしたい場合はL-5側に上げてください。	早く戻す
L-1側 （遅い加速） 大排気量車向け	エンジン出力が大きいクルマで、設定速度に戻る時間が早く、急な加速で乗り心地が悪い場合はL-1側に下げてください。	ゆっくり戻す

【設定の参考例】

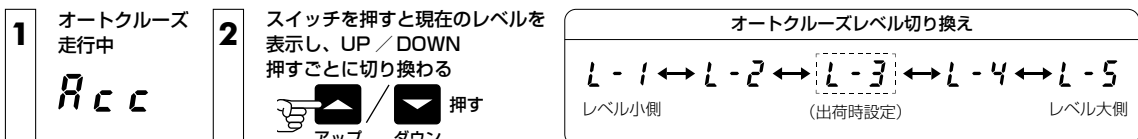
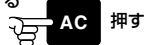
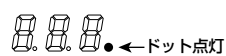
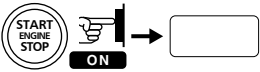
L-4	BMW 116
L-3	BMW 320 MINI Cooper
L-2	BMW 135 MINI Cooper S

⚠ **走行中のスイッチ操作や表示の注視は事故の原因となりますので、安全に十分配慮して行ってください。**

【設定方法】

1 オートクルーズ走行中

2 スイッチを押すと現在のレベルを表示し、UP／DOWN押すごとに切り換わる

オートクルーズレベル切り換え

テスト走行
各配線と「初期設定」「車速パルス設定」が完了したら、低速で簡単な確認を行ってください。
●テスト走行は、歩行者や交通量の少ない、安全な広い場所で行ってください。
●本書をよくお読みいただき、操作方法をご理解の上で行ってください。
1
キースイッチON
(エンジン始動)
START
2
ACスイッチを押し、
オートクルーズモード
をONにする
AC
押す
オートクルーズ
使用可能
on.
3
3秒間操作なしで
設定完了
4
モード表示
ドット点灯
5
走行開始
(35～40km/h)
6
セットスイッチ押す
押す
7
設定した速度で
オートクルーズ
走行開始
Acc
オートクルーズ解除
●セットスイッチ押す
●ブレーキを踏む
●MODE／ACスイッチ押す
オートクルーズが動作しない
●灰・オレンジコードの接続不良（⇒4～5ページ）
●ピンクコードの配線間違い（⇒6ページ）
●各設定がされていない（⇒9～10ページ）
●セットスイッチの接続不良（⇒7ページ）

故障かな？と思ったら

基本動作と車輌関係

症　状	原　因	対　策
キースイッチONで本体の表示が点灯しない。	車輌のブレーキヒューズ切れ。	再度ご確認ください。
	赤 黒 コードの配線間違い、または接続不良。	
	専用ハーネス 6Pコネクター の接続不良。	
チェックランプが点灯した。	「キーON」または「キーOFF後、15分以内」にアクセルコネクターまたは 専用ハーネス を抜いた。	抜いたコネクターを元に戻し、「チェックランプ消灯方法」（⇒16ページ）に従って消灯させてください。
	「初期設定」が行われていない。	本書（⇒9ページ 手順3「初期設定」）に従ってアクセル開度設定を行い、「チェックランプ消灯方法」（⇒16ページ）に従って消灯させてください。
	車輌リバース信号がパルス式になっている。	本書（⇒6ページ）をご確認ください。
初期設定中にErr 表示になる。	「初期設定」が正確に行われていない。	本書（⇒9ページ 手順3「初期設定」）に従ってアクセル開度設定を行ってください。

スロットルコントローラー関係

症　状	原　因	対　策
モードを切り換えても変化が体感できない。	「初期設定」が正確に行われていない。	本書（⇒9ページ 手順3「初期設定」）に従ってアクセル開度設定を行ってください。
モードまたは変化率の設定が記憶できない。	モード切り換えまたは変化率設定後、すぐにキーをOFFにしている。	モード切り換えまたは変化率設定後、2秒以上経ってからキーをOFFにしてください。
スポーツモード中、リバース時に bAc 表示にならない。	ピンク コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	社外ナビのリバースケーブルに接続している。	本書（⇒6ページ）に従ってリバース配線を行ってください。
	リバースランプをLEDに交換している。	●リバースランプを電球に戻してください。 ●リバース配線を行わないでください。

オートクルーズ関係

症 状	原 因	対 策
オートクルーズが動作しない。 × Acc	灰 オレンジ コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	2Pコネクター の接続不良。	
	ピンク コードの配線間違い。	
	設定可能速度外。	
	オートクルーズモードがOFF状態。(ドット消灯)	本書(⇒12ページ「オートクルーズモードの設定」)に従ってドットを点灯させてください。
	「初期設定」が正確に行われていない。	本書(⇒9ページ 手順3「初期設定」)に従ってアクセル開度設定を行ってください。
	ブレーキランプをLEDに交換している。	ブレーキランプを電球に戻してください。
	急な減速時は、メーター表示の遅れから30km/h以上でも動作しない場合があります。	
オートクルーズが解除され、表示が消灯する。 Acc →	車輌のブレーキヒューズ切れ。	再度ご確認ください。
	赤 黒 コードの配線間違い、または接続不良。	
	専用ハーネス または 6Pコネクター が抜けた。	
オートクルーズが自動で解除され、スロコンに切り換わる。 Acc → SP2	灰 オレンジ コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	ピンク コードの配線間違い。	
	「初期設定」が正確に行われていない。	本書(⇒9ページ 手順3「初期設定」)に従ってアクセル開度設定を行ってください。
	設定速度から20km/h下がる、または速度が15km/h以下になった場合は自動解除されます。	
急な上り坂でオートクルーズの設定速度との差が大きい。	オートクルーズレベル調整がレベル小(L-1側)になっている。	本書(⇒13ページ「レベル調整」)に従って調整してください。
オートクルーズの設定速度に戻る加速が強く感じる。	オートクルーズレベル調整がレベル大(L-5側)になっている。	
速度が30km/h以上でもオートクルーズセットできない。	「車速パルス設定」が正確に行われていない。	本書(⇒10ページ 手順4「車速パルス設定」)に従って設定を行ってください。

ヒント

チェックランプ消灯方法

各作業を正常に行えば、チェックランプは点灯しませんが、万一作業ミスなどで点灯した場合に行ってください。

①正常状態でエンジン始動と停止を数回繰り返してください。

②上記を行っても消灯しない場合は、カーディーラー等の専用機器で消灯作業を行ってください。

キースイッチON
(エンジン始動)

株式会社ピボット 〒390-0313 長野県松本市岡田下岡田87-3 TEL 0263-46-5901(代) http://pivotjp.com/